

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録(CTなどの画像、採血結果、病理結果)を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

肝切除における幕内基準外切除症例の安全性に関する後ろ向き観察研究

【研究機関】市立宇和島病院

【研究機関の長】善家 喜一郎（病院長）

【研究代表者】永岡智之（愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 医員）

【研究責任者】今井良典（市立宇和島病院 外科統括科長）

【研究の目的】

幕内基準は肝切除の手術適応を肝予備能の観点から判断するもので、簡便で世界中に普及しています。しかし、幕内基準が登場して30年以上が経過し、幕内基準を満たさない肝切除症例も増えており、大きな術後合併症がなく退院される方も多くみられます。そこで今回、幕内基準を満たさない方と満たした方の術後経過（合併症率、術後在院日数など）を比較し、基準の妥当性の検討と、今後の基準を見直すきっかけを作ろうと考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2010年1月から2021年12月に市立宇和島病院を受診された方のうち肝細胞癌のため系統的肝切除を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、手術日、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、病理検査、術後合併症（肝機能不全、難治性腹水、胆汁漏）、術後在院日数、再発の有無、生存の有無、等です。すべてカルテから抽出できる情報を用います。

【共同研究について】

この研究は、愛媛大学医学部附属病院と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ、匿名化されて、CD-Rに保存した電子ファイルを郵送することによって愛媛大学医学部附属病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 永岡智之

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 永岡智之
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5327